

広聴特別委員会

日 時 令和5年10月12日（木）

午後1時30分から

場 所 第2委員会室

付議事項

1 モニター意見に対する議会の考えと対応について

2 9月議会報告会について

(1) 6月議会報告会における未回答分について

(2) 準備等について

3 議会だより（ザシギカイ）の原稿について

4 その他

令和5年4月12、13日開催の意見交換会で聴取した意見

| モニターからの意見 | 議会の考えと対応 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ YouTube による議会報告のような取組は、今後も継続してほしい。 ・ 本議会中の議員の私語が気になる。また、議会はイエスマンであってはならない。もっと議員間での議論をすべきではないか。 ⇒議案審査など、議員間の議論がもっと活発になるようにしてほしい。 ・ 議会に対し若者離れがある。議会が中学校等に出向いてほしい。 ・ 市役所本庁舎環境改善事業の内部改修は、電動車椅子やバリアフリーをどこまでやるのか。障害者や高齢者のためにも、いろんなピクトグラムを使ってお示しするようなものが必要ではないか。 ・ 意見交換会は、議事録を取っているのか。1月12日開催の意見交換会で聴取した意見と市議会モニター意見交換会報告書があるが、一個人の意見として、税金が不正に使われたら、市議会が動くことは大事なことはないか。 ・ 市長が答弁しないことが習慣になってきている。市長は答弁しない。それで副市長が答弁する。それで、市議の方が根負けしたら、山陽小野田市の議会運営では市長が答弁しないのは不思議なことである。 ⇒議員の能力が低いとは思っていないが、議員研修などで議員の能力向上に努めてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、広報特別委員会で引き継ぎます。 ・ 御意見として受け止め、全議員に周知します。 ・ 手法を検討していきます。 ・ 大変貴重な御意見として受け止めますが、執行部への要望と捉え、回答できません。 ・ 大変貴重な御意見として受け止めますが、検討すべき意見とは捉えていませんでした。モニター職務外の意見のため、回答できません。 ・ 市長の答弁を引き出す必要があるか否かについては、各議員の考えによります。議員の能力向上については、これまでも山口県市議会議長会の研修をはじめ、様々な研修に取り組んできたところですが、このたび新たに議会アドバイザーによる |

- ・一般質問の声が聞き取りにくい。字幕があれば分かりやすいのでは。

⇒聞き直してからの意見

今何を質問しているかといったテロップだけでも欲しい。

- ・自動文字起こしを活用したことがあるが画像か字かどちらかが映りが悪くなる。

⇒聞き直してからの意見

自動字幕のことです。質問者名が分かるテロップだけでも欲しい。

- ・一般質問で議員と執行部のやり取りのリンクがあって飛べるようにしてもらいたい。

- ・ひも付けができれば見たいときに見られるので、お願いしたい。

⇒上記2つを聞き直してからの意見

ホームページとユーチューブの相互リンクなどをしては。例えば、備考欄に説明を表示する、説明してあるページに飛ぶようなリンクを張るなど、若者に興味を示してもらうためにも、提供する側の姿勢として見やすく提供してもらいたい。

研修も考えております。市民からの負託に応え続けられるように、本市議会は引き続き議員の能力向上に努めます。

- ・技術的に可能か確認し、可能な限り対応します。
- ・委員会開会中、テロップを随時入力する人員が必要であること、テロップ入力から YouTube への反映までにタイムラグがあることから、人間的、技術的にも対応は難しいと考えます。
- ・技術的にも諸課題がありますので、今後検討していきます。

令和5年7月12、13、14日開催の意見交換会で聴取した意見

| モニターからの意見 | 議会の考えと対応 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・モニター意見への対応が不誠実である。会議録をしっかりと確認して、取り上げた意見を「議会だより」に掲載してほしい。(前段広聴、後段広報) ・市議会議員の仕事を市民に分かりやすく掲載してほしい。 ・若者が興味を持ち、読みたくなるような内容にしてほしい。 ・若者のタイムリーな活動の写真などを表紙に掲載してほしい。 ・若者からどんどん意見を聞いて、その意見を掲載してほしい。 (前段広聴、後段広報) ・しっかり予算措置をして、もっとカラー紙面を増やしてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・(前段広聴) きちんと取り組んでいきます。 ・(後段広報) 議会だよりの紙面構成を考慮しつつ、内容に応じて紙面を確保し、可能な限りモニターからの意見を掲載します。 ・議会だよりに市議会議員の仕事が分かるような特集を組みます。 ・若者も含む市民が興味を持ち、読みたくなるような内容になるように努めます。 ・議会だよりを手にとってもらえるような表紙にするために、頂いた意見を参考に議論していきます。 ・(前段広聴) 市民懇談会の開催を、議会側からのできるようにしましたが、出向いていくその他の方法を検討します。 ・(後段広報) 若者も含む市民が興味を持ち、読みたくなるような内容を掲載するように努めます。 ・必要な予算は確保するよう努力しますが、ほかの必要とする経費も考慮し、議論します。 |

- ・ 請願の内容、結果、その後の進捗を詳しく掲載してほしい。
- ・ 市民から多様な意見を聞くために、要望書や陳情書、請願書などの制度があることを市民への周知に力を入れてほしい。
- ・ 議会だよりの表紙はイラストより写真のほうが良いのではないかと。また、web 方式での読者アンケートにすると若者の意見を聞きやすいのではないかと。
- ・ 議会だよりの裏面のお知らせや議決結果を大きく表示してほしい。
- ・ 議会だよりに、議員が働いている写真、一般質問をしている写真があるとよい。

《中学生による本会議の傍聴に関して》

- ・ 傍聴した中学生にアンケートをするなどして、意見をしっかり集約して市議会に反映させてほしい。
- ・ 市内の中学校や高校に、この活動を広げてほしい。そして、若者の意見をたくさん聞き市議会に反映させてほしい。

(前段広報、後段広聴)

- ・ 請願の内容、結果については掲載してきました。その後の進捗も踏まえて、必要に応じて掲載していきます。
- ・ 市議会ホームページ、FM スマイルウェブ、議会だよりで請願、陳情、要望の制度について周知しています。より分かりやすい内容となるよう周知に力を入れていきます。
- ・ 議会だよりを手に取ってもらえるような表紙にするために、頂いた意見を参考に議論していきます。また、web 方式での読者アンケートについては慎重に検討していきます。
- ・ 今後、検討していきます。
- ・ 議会だよりを手に取ってもらえるような内容にするために、頂いた意見を参考に議論していきます。
- ・ アンケートは実施しています。意見をしっかり集約して反映するよう努めます。
- ・ (前段広聴) 市民懇談会の開催を、議会側からできるようにしましたが、出向いていくその他の方法を検討します。

(前段広報) 中学校3年生から公民の授業に

において主権者教育が始まるため、市内の中学校3年生を対象としました。令和5年度は高千帆中学校3年生の生徒会が傍聴しましたが、市内全中学3年生が学校で本会議を中継視聴しています。令和6年度以降は他の中学校の生徒が傍聴する予定です。

- 内容をきちんと精査し、今後も続けていきます。
- 令和5年度は一般質問の内容が分かる資料を事前に学校に提供しました。来年度は生徒が事前に勉強できるよう学校と調整していきます。
- 令和5年度はアンケート及び意見交換会を実施しています。アンケート及び意見交換会の内容を精査し、来年度実施するか引き続き検討していきます。
- 教育委員会、学校の対応があって実施できた取組です。今後は、御指摘のようなことにならないよう、取り組んでいきます。
- 中学校3年生から公民の授業において主権者教

- 本会議場で中学生による傍聴を実際に見たが、とても良い試みだと思った。内容をきちんと精査して、今後も続けてほしい。
- 一般質問の内容を中学生がしっかり理解できるように、事前にどのような勉強が必要かなどを先生方に詳しく聞いておくべきである。
- 議会に興味を持つことにより将来の投票率が向上すると良い。中学生の議会に対する意識調査を実施してほしい。
- 良い試みなのに、実施が少し遅すぎたと思う。なぜ、遅くなったのかをきちんと検証して、今後の議会活動に活かしてほしい。
- 小学生・高校生にも定期的実施することにつながれば良いのではないか。

- ・モニター委嘱式の際に、職務を理解できるような説明をしていない。モニターに本来の職務を理解させるべき。
- ・モニターが個人的な意見を自由に言えるように、モニター職務の拡充を検討して欲しい。
- ・市民の意見をもっと広く聞くために、モニター制度以外の手法や制度を増やして欲しい。
- ・予定を郵送していただいているが、予定が早く分かれば本会議や委員会を傍聴しやすくなるので、議会の予定をもっと早く教えてほしい。
- ・市長の答弁を引き出せるように、議員研修などに力を入れ、議員の能力を上げてほしい。

育が始まるため、市内の中学校3年生を対象としました。令和5年度は高千帆中学校3年生の生徒会が傍聴しましたが、令和6年度以降は他の中学校の生徒が傍聴する予定です。

- ・自覚して取り組みます。
- ・今後、モニターの方に提示してもらい、手法を検討していきます。
- ・今後、モニターの方に提示してもらい、手法を検討していきます。
- ・既に対応していますが、今後も取り組みます。
- ・市長の答弁を引き出す必要があるか否かについては、各議員の考えによります。議員の能力向上については、これまでも山口県市議会議長会の研修をはじめ、さまざまな研修に取り組んできたところですが、このたび新たに議会アドバイザーによる研修も考えております。市民からの負託に応え続けられるように、引き続き議員の能力向上に努めます。

6月議会報告会「議会カフェ」での質問と回答

前回開催した議会カフェで、持ち帰ったご意見について調査いたしましたので、ご報告します。

【ふるさと納税自動販売機設置事業】

| | |
|----|--|
| 質問 | 目論見が外れた場合はどうなるのか？ (市民館) |
| 回答 | 当該事業については、事業の目的が的確に達せられるよう、最大限の努力をしているとのことである。 |

| | |
|----|---------------------------------|
| 質問 | 韓国からのゴルフ場への来場は増えているのか？ (市民館) |
| 回答 | 増えているとのことである。 |

【市民病院の病床削減など】

| | |
|----|--|
| 質問 | 救急と急性期の違いは何か？ (市民館) |
| 回答 | 「急性期病床」とは、病気を発症して間もない時期など患者の状態が急速に悪化する時期に必要な医療を提供するための病床のこと、「救急告示病院」とは、一般の急性期病院で対応可能な軽症患者より程度が重い救急患者に対応する病院のことであり、市民病院は、救急告示病院として、急性期病床のうち5床を救急患者に対応する病床として設けているとのことである。 |

| | |
|----|---|
| 質問 | 病床を削減することで黒字になるのか？ (市民館) |
| 回答 | 黒字になるとは断言できないが、今回の病床削減により加算される診療報酬が増えるため、外来収益の増加が見込め、令和5年度の外来収益は、3,324万3,000円の増額を見込んでいるとのことである。 |